

生産、出荷指数 とともに上昇

1 概要

平成14年4～6月期の埼玉県鉱工業指数（X-11 デフォルトによる季節調整済、平成7年平均＝100）は、前期と比べ、生産、出荷、在庫が上昇し、在庫率が低下した。生産は6期ぶり、出荷は7期ぶりで上昇となった。

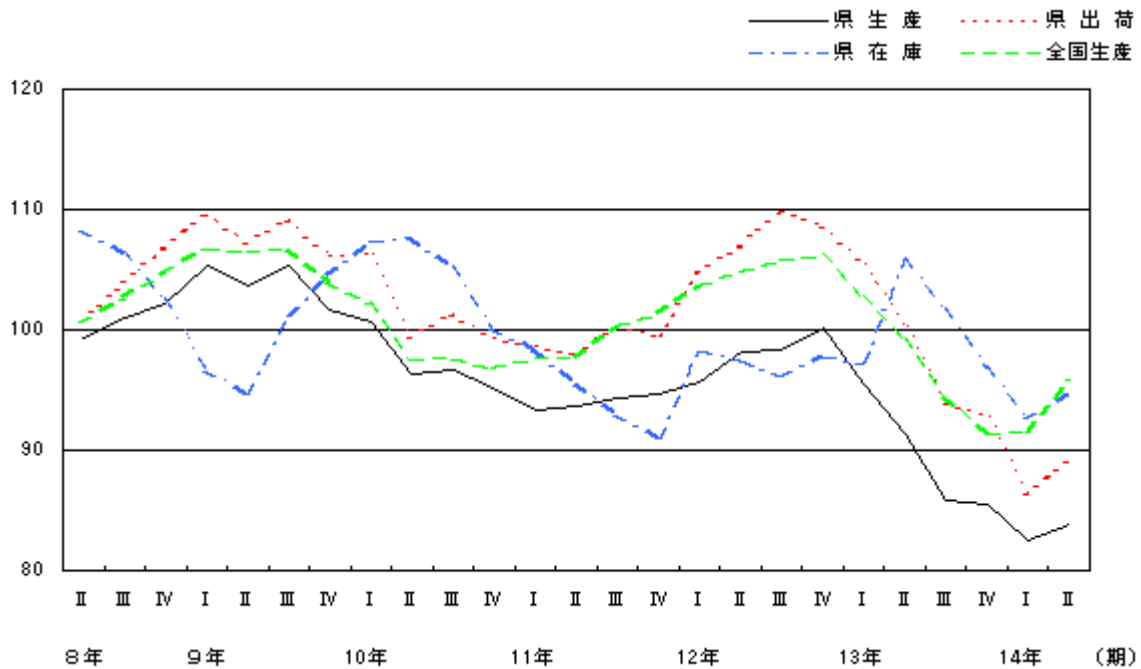
前年同期比では、生産、出荷、在庫ともに低下した。

	埼玉県			全国		
	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)
生産	83.8	1.6	△8.4	95.6	4.5	△3.5
出荷	89.1	3.1	△11.3	99.1	4.9	△1.9
在庫	94.6	2.2	△10.6	87.5	△3.0	△12.1
在庫率	103.8	△3.7	△3.2	100.1	△8.8	△9.0

前年同期比は原指数による。全国の在庫指数は期末値による。

－埼玉県鉱工業総合指数の推移－

（平成7年平均＝100 季調済）



2 業種別動向

(1) 生産

19業種中10業種が上昇し、9業種が低下した。上昇には一般機械工業、食品工業などが寄与し、低下には化学工業、金属製品工業などが寄与した。

(2) 出荷

19業種中9業種が上昇し、10業種が低下した。上昇には電気機械工業、一般機械工業などが寄与し、低下には化学工業、家具工業などが寄与した。

(3) 在庫

19業種中8業種が上昇し、11業種が低下した。上昇には輸送機械工業、一般機械工業などが寄与し、低下には金属製品工業、非鉄金属工業などが寄与した。

